

**「蝶番が好きすぎる、創業80年の町工場が、新たな取組を開始」  
新ブランド「Tunagu」(つなぐ)でギフトショー出展、商品開発と販路開拓に挑戦**

機械等金属筐体向けの蝶番の製造と販売を行う(有)伊藤金属総業(静岡県伊豆市)は、2025年9月3日(水)から5日(金)に東京ビッグサイトで開催される「東京インターナショナルギフト・ショー」に出展。新ブランド「Tunagu」(つなぐ)を立ち上げ、地域と自社のものづくりをつないだ製品を開発。新たな販路の開拓を目指し、一般消費者向け市場への挑戦を開始します。

**■ 出展の背景とねらい ～なぜ、ギフトショーなのか～**

販路拡大を目的に蝶番のユーザーが多数訪れる展示会への出展を目指し県内企業対象の共同出展に応募したものの落選したことで、技術力よりも価格と納期等で評価されがちな部品の専門的な展示会ではなく、価格競争に巻き込まれずに自社のものづくりの価値を伝える場として一般消費者向けの展示会である「ギフトショー」への出展を決断。自社の物づくりと地域とをつなげる製品で、新たな販路の開拓と共にBtoC市場への進出を目指します。

**■ 新ブランド「Tunagu」とは？ ～名刺入れでつながるものづくりと地域～**

伊藤金属総業が大切に思う「つなぐ」を表現する為に新たに立ち上げるブランド「Tunagu」(つなぐ)。第一弾とし伊豆市で捕獲された鹿から生まれる鹿革と伊藤金属総業の蝶番製造の技をつないだ名刺入れを製作、東京インターナショナルギフトショーで発表し販売を開始します。(右:試作製品)

名刺入れは、有害鳥獣対策として伊豆市内で捕獲された伊豆鹿の革でバッグや小物を作る革製品職人であり自らも狩猟を行う松本天太氏(ブランド名「teku」、伊豆市八幡)と共同で開発。蝶番の構造を生かし蓋が大きく滑らかに開き、素材として優れ古来より利用される鹿革と真鍮の経年変化を味わいながら長く使えるのが特徴。松本氏の「命を紡ぐ」、伊藤金属総業の「蝶番でヒトやモノやコトをつなぐ」、それぞれの思いがつながり生まれた名刺入れ。人と人がつながる最初の場面で活躍する名刺入れを通じ、「蝶番」「町工場」「物づくり」「地域の課題の解決」へ光が当たる事も目指します。



今後「Tunagu」ブランドでは、オリジナル婚姻届けの配布等様々な「つなぐ」取組を展開していく予定です。

**■ 「CHOUTSUGAI MANIA-GOODS COLLECTION」 ～蝶番マニアグッズコレクション～**



認知度向上の取組として、蝶番をモチーフにしたグッズ類を展開し、販売。自社工場とECサイト、修善寺温泉修善寺燕舎、修善寺駅前「中清食堂」での販売の他、三井ショッピングパークららぽーと沼津1階沼津コートでは8月31日までの期間限定で販売中。

近隣地域の催事にも出店し、次回は2025年8月2日(土)に伊豆箱根鉄道修善寺駅西口広場で開催される修善寺駅前まつりに出店。

(グッズ類詳細につきましては下記QRコードよりHP・SNSをご覧ください)

<本件に関するお問い合わせ>

**有限会社伊藤金属総業 代表取締役 伊藤徹郎(いとうてつお)**

静岡県伊豆市柏久保139

TEL : 0558-72-0604 携帯 : 090-4110-6743 FAX : 0558-72-1904

E-mail : [tetsuo-ito@choutsugai.jp](mailto:tetsuo-ito@choutsugai.jp)

HP : <https://choutsugai.jp/> Facebook・X・Instagram等SNS

